

～豊かな経験へ～経験の深まり 下線部は小さな発見を豊かな経験につなぐ教師の援助

**数日前の様子**

5歳児がカゴやふるいで落ち葉をふるって砂を落とし、裏庭の土工場に入れて腐葉土を作る取り組みをしていた。A児は5歳児がしていることに興味をもち、教えてもらいながら一緒に取り組んでいた。(リーフレット園庭マップ下部参照)

**落ち葉を集めてみよう**

シンボルツリーのカエデは紅葉後、根元にたくさんの落ち葉が溜まる。教職員が連携し、落ち葉を捨てずに遊びに使える状態にしていた。教師は幼児と一緒に熊手を使って落ち葉を集め、プールやベッドに見立てて遊ぶことを楽しんでいた。

この日、A児とB児と一緒に熊手で落ち葉を集めていた。A児は「フワフワにさせた方がいいんじゃない？」とB児に提案した。B児は「それなら砂も混ぜたらいいんじゃない？」と言い、砂も少し集めて加えた。

たくさん集まってくると、A児とB児は集めた落ち葉の上に座った。A児はすぐに立ち上がりさらに落ち葉を集め始め、B児は寝転がり、空を見上げた。A児はB児の体に落ち葉を掛けた。B児は落ち葉に埋められると、「わぁ、(カエデと空)きれいな！」と喜んだ。教師は「いいなあ。先生もやりたくなっちゃった。」と言ってA児とB児との関わりを楽しんだ。

**【小さな発見】**

・たくさんの落ち葉が集められていたことで幼児の想像力や触れてみたいという気持ちが高まった。

**【豊かな経験】**

・熊手などを使って落ち葉を集めたり、落ち葉に触れて遊んだりした経験から、フワフワにしたいと考え、それぞれが考えたことを伝え合いながら試した。  
・落ち葉を集める、上に座る、寝転がるなど全身で落ち葉と関わり、感触を楽しんだ。  
・寝転がったことでカエデや木漏れ日の美しさに気づき、自然へ愛着を感じた。



～豊かな経験へ～経験の深まり

**砂が踊ってる！**

遊んでいる中で葉が細かく砕け、砂が混ざりやすくなった。A児は砂場遊具のふるいで落ち葉をふるった。砂がサラサラと落ちてくると「砂が踊ってる！」と驚いた。教師が「本当だね。踊っているみたい。」と話すと、さらに落ち葉をふるって「ふふ。いっぱい。」と笑った。

**自然と幼児が集っていく**

教師が砕けた落ち葉を上からヒラヒラ落とすと、風に乗って舞った。それを見たA児もまねをしようとビールケースを持って来て2つ重ね、さらに階段を作ってその上に乗った。A児がビールケースの上に乗ってふるいに集めた落ち葉を落とすと、落ち葉が細かく舞った。その様子に気付いたB児や他の幼児もカエデの木の周りに集まってきた。A児が繰り返しふるいに落ち葉を集め、ビールケースの上から落ち葉を落としたり舞っている落ち葉の下に入ったりした。次第に落ち葉を落とす方にも興味をもち、A児に代わってもらいながら落ち葉を落としていた。A児はふるいだけでは足りないと思ったのか、新たにバケツを持ち出して落ち葉を集めていた。その後もフワッと投げる感触やきれいさ、その葉をかぶる楽しさを感じ何度も繰り返していた。

**【豊かな経験】**

・繰り返し遊ぶ中で落ち葉が細かくなり、ふるいを使って遊ぶという別の方法を思いつき、取り入れた。  
・数日前に5歳児に教えてもらった経験が心に残っていて、フルイで砂を落とすことを思い付いた。

**【小さな発見】**

・砂がサラサラと落ちてくる様子に驚き、心が動いたためその気持ちを「砂が踊ってる！」という言葉で表した。

**【豊かな経験】**

・教師の姿に刺激を受け、ヒラヒラ落ち葉が舞うように、ビールケースを使って高い所から落とすという方法を思い付き、試した。



**【周囲で遊んでいた幼児にとっての小さな発見】**

・A児や教師がふるいを使って落ち葉で遊んでいる楽しそうな姿を見て、自分たちも落ち葉で遊びたいという意欲をもち遊びに参加した。

**【豊かな経験】**

・周囲の友達加わり、A児が楽しんでいたことを共有し、皆で楽しんだ。  
・A児は落ち葉を集めるために、バケツという別のものを使い始め、繰り返し落ち葉との関わりを楽しんだ。

**【幼児の小さな発見を豊かな経験につなぐ過程で必要な教師の援助の工夫】**

- 季節ならではの自然を逃さないように園庭環境を整えることで、幼児の自然との関わりが生まれ、小さな発見につながる。
  - ・落ち葉を全て捨てず幼児が遊びに使えるよう取って集めて残しておくなど、季節ならではの園庭環境を保育に生かせるように教職員間で共有し、整備することが大切である。
  - ・シンボルツリーのカエデの木は園庭の中でも目立つ場にあり、四季によって変化が見られるという魅力がある。年間を通してカエデの木の周りのできる遊びや活動を教師が予想し環境設定しておくことで、幼児がその季節ならではの体験ができる。
- 教師がモデルとなったり一緒に楽しんだりして自然と関わることで、幼児の自然との関わりが生まれる。
  - ・幼児と共に教師自身も楽しんだり面白がったりすることで、遊びに参加している幼児が楽しさや感動した気持ちを発信する喜びを感じるだけでなく、周囲の幼児にも、自然の魅力や遊びの楽しさが伝わることにつながった。